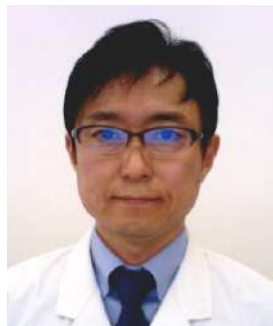


## 令和5年 年頭に寄せて



副理事長

沖田 孝一

北翔大学大学院  
生涯スポーツ学  
研究科 教授

新年明けましておめでとうございます。  
新型コロナウイルスの猛威は、頽勢の気配なく、  
感染リスクと医療逼迫を懸念しながらの日々が続いて  
います。ウクライナ戦争、円安、さらなる経済状  
況の悪化が予想される不安定な社会環境において、

“信頼できる確かなもの”、“頑健な心身”、を創  
り・維持すること、これほど大切なことはないでしょ  
う。しかしながら、この命題は、決して単一分野の学  
術組織が担えるものではありません。日本臨床運動療  
法学会は、異分野の学術組織に属する研究者が“運  
動”をキーワードに集結した唯一のコミュニティで  
す。そして、本会はこの多種学術連携を基盤に、理論  
から臨床および様々なエクササイズの実践までをシ  
ームレスに繋ぐ有機的組織として機能しています。私は  
この共同体の役員として、これからも邁進していく所  
存であります。

当会の更なる発展のため、本年も皆さまのお力添えを  
どうぞ宜しくお願い申し上げます。



副理事長

曾根 博仁

新潟大学大学院  
医歯学総合研究科  
血液・内分泌・  
代謝内科 教授

現在、本学会の副理事長を拝命している曾根と申します。  
ニュースレター第2号発刊にあたりご挨拶申し上げます。  
昨今の薬物療法全盛の臨床現場において、生活習慣療法は  
軽視される傾向があり、とりわけ運動療法は実施不十分と言  
わざるをえません。その背景として、食事療法と比較しても  
健康保険によるサポートが不十分であり、食事療法の管理栄  
養士さんにあたる運動指導専門職の病院現場配置が圧倒的に  
不足しているという現実があります。

我々が以前実施した大規模臨床観察研究においても、心血  
管疾患の高リスク集団である糖尿病患者さんにおいて、一日  
30分速足相当の運動をしている方々は、運動療法を実施し  
ていない方々と比較して、交絡因子調整後も心血管疾患およ  
び死亡リスクが半減していました。運動療法はこのように、  
寿命と健康寿命を短縮させる心血管疾患を、かなり予防でき

るポテンシャルがあります。しかしそれにも関わらず、  
わが国の医療現場において、運動専門職の指導が受けら  
れるのは、残念ながら心血管疾患発症後のリハビリテー  
ションとしてが大部分であり、心血管疾患そのものを予  
防するための健康運動指導士による運動療法は保険診療  
上、十分にカバーされていません。

実際に、介護保険ビッグデータを用いて、介護導入（す  
なわち健康寿命終焉）のリスク因子を調べると、「運動  
不足」が「糖尿病」、「痩せ過ぎ」と並ぶ三大因子であ  
ることがわかりました。すなわち寿命も健康寿命も、延  
伸のためには運動が不可欠であり、その実施を後押しす  
ることが、本学会の重大な使命であると思います。

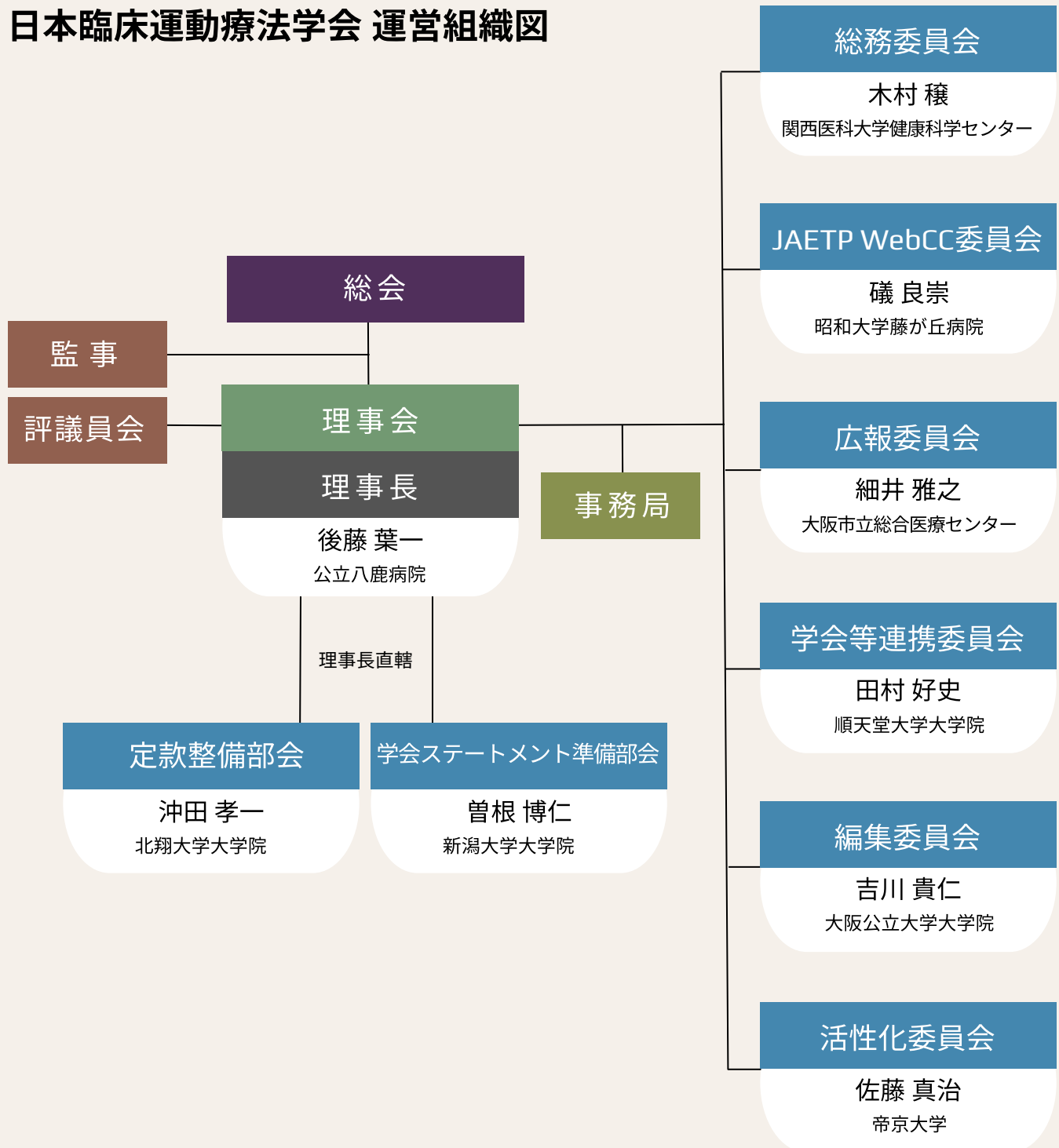
本学会ではそのために、現在すでに様々な努力がなさ  
れていますが、そのうちでも運動療法の重要性を改めて  
現場に認識していただく上でのExercise is Medicine®  
との連携や、現場における工夫経験を共有するJapan  
Medical Fitness (JMF) の取り組みなどは、サイエン  
ス現場を結びつける上で、他学会には見られないアプ  
ローチだと思います。大きすぎないサイズを活かした機  
動力ある学会運営は本会の特長であり、医療現場と研究の  
将来を担う若い会員をさらに増やし、その活動をさらに  
活性化させていければと思っております。ご協力のほど  
よろしくようお願い申し上げます。

## Information①

## 各種委員会設置、委員長のご紹介

日本臨床運動療法学会に各種委員会が設置されました。各委員会の委員長を紹介します。  
メンバーは次回ニュースレターでご案内します。

## 日本臨床運動療法学会 運営組織図



(2023年1月現在・敬称略)

## Information②

## JAETP Web CC (ケースカンファレンス)

関西医科大学健康科学センターを中心に医療と連携した運動療法につき、各施設から施設紹介と症例の報告会を開催してきました。昨年11月からJAETP公式勉強会として、月1回開催しております。第1回から第3回は下記の通り開催されました。初回のみ右記URLから登録が必要です。学会員は、オンデマンド視聴も可能です。なお発表施設も募集中です。ご希望の方は事務局へご連絡ください。

初回登録はこちら



第1回 2022年11月4日(金) 18:30～  
 演者 : 熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンター  
 課長 山下 亮 先生  
 演題名 : 近隣医療機関との連携下で実施した指定運動療法施設での  
 運動療法 —心疾患患者を症例にして—  
 施設HP : [熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンター](#)



第2回 2022年12月9日(金) 18:30～  
 演者 : 医療法人社団 涓泉会(けんせんかい) 山王リハビリ・クリニック  
 疾病予防型運動施設「ウェルネスジム山王」施設長 平林 克之 先生  
 演題名 : ウェルネスジム山王 施設紹介&症例提示  
 施設HP : [疾病予防型運動施設 「ウェルネスジム山王」  
 「ほっとスマホステーション」](#)



第3回 2023年1月6日(金) 18:30～  
 演者 : 医療法人三九会 三九郎病院  
 メディカルフィットネス SHIN-SHINとよた  
 健康運動実践指導者 前田 翔太 先生  
 演題名 : メディカルフィットネス SHIN-SHINとよた 施設紹介&症例提示  
 施設HP : [メディカルフィットネス SHIN-SHINとよた](#)

## 次回案内

第4回 2023年2月3日(金) 18:30～  
 演者 : 医療法人健伸会 かぎもとクリニック  
 健康運動指導士・京都府糖尿病療養指導士 芝崎 美幸 先生  
 施設HP : [医療法人健伸会 かぎもとクリニック](#)

## Information③

## 第42回日本臨床運動療法学会学術集会のご案内

サルコペニア・フレイルと運動療法  
予防から治療まで

サルコペニア・フレイル対策としての運動療法を中心に、特別講演やランチョンセミナーのほか、下記プログラムを予定しています。一般演題も公募しますので、奮ってご応募、ご参加ください。

## シンポジウム

「運動療法に用いる多彩な運動様式」「栄養と運動療法」に加え、「スポーツと健康、医療連携」のテーマでは、スポーツ庁管轄国立スポーツ科学センター（JISS）や日本メディカルフィットネス研究会とのジョイント形式の予定です。

## 教育講演

- 「運動療法とマイオカイン」
- 「心不全と運動療法」
- 「栄養」
- 「運動療法施設の有効活用と今後の展望」
- 「ITC、遠隔医療」
- 「高齢者と心臓リハビリ」
- 「若年層と女性の運動と栄養」

## 企業展示・広告募集

獨協医科大学関湊記念ホールロビーでの展示と、抄録集への広告掲載を募集しています。

## 【お問い合わせ先】

第42回 日本臨床運動療法学会学術集会  
運営事務局（株）ブランドゥ・ジャパン内  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6  
大門アーバニスト401  
TEL：03-5470-4401  
E-mail：jaetp2023@nta.co.jp



**第42回  
日本臨床運動療法学会  
学術集会**

The 42nd Annual Meeting of The Japanese Association of  
Exercise Therapy and Prevention

“サルコペニア・フレイルと運動療法 予防から治療まで”

会期 **2023年  
10/14<sup>土</sup>・15<sup>日</sup>**

会場 獨協医科大学 関湊記念ホール 他

会長 中島 敏明  
(獨協医科大学 医学部 特任教授)

副会長 豊田 茂  
(獨協医科大学 心臓・血管内科/  
循環器内科 主任教授)

◆主催事務局連絡先◆  
第42回 日本臨床運動療法学会学術集会事務局  
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880  
獨協医科大学 心臓・血管内科/循環器内科 内  
TEL:0282-86-1111(7101)  
E-mail:nakat@dokkyomed.ac.jp

◆運営事務局連絡先◆  
第42回 日本臨床運動療法学会学術集会運営事務局  
(株)ブランドゥ・ジャパン内  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401  
TEL:03-5470-4401  
E-mail:jaetp2023@nta.co.jp

ホームページURL: <https://web.apollon.nta.co.jp/jaetp2023/>

学会詳細については上記ホームページにて随時更新してまいります。

## 会場アクセス



栃木県は、世界遺産「日光東照宮」や鬼怒川温泉が有名です。秋には、男体山に映える紅葉と中禅寺湖や、太平山神社から望む筑波山と雲海が美しいです。自然と文化に恵まれた栃木へ、皆様ぜひ足をお運びください。

